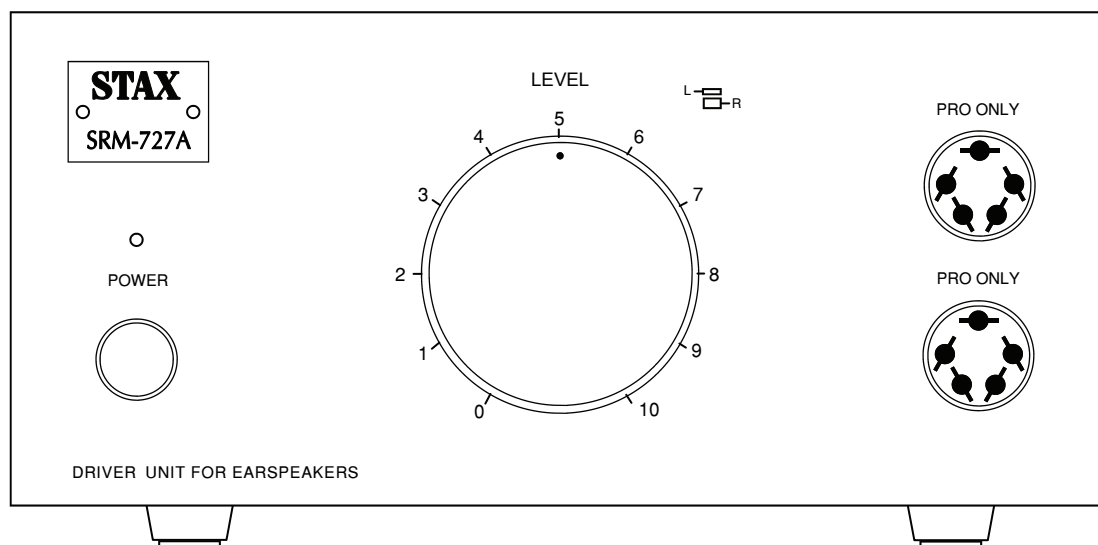


# SRM-727A

FULL RANGE/HIGH OUTPUT DRIVER UNIT  
for STAX PRO EARSPEAKERS

## 取扱説明書

このたびは、スタックスのイヤースピーカー用専用ドライバーユニット SRM-727A をお買い上げいただきましてありがとうございます。SRM-727A の音質、性能、機能をフルに発揮してお使いいただくためにこの説明書をよくお読みの上、末長くご愛用くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは保証書とともに必ず保存してください。



この製品は高電圧を内蔵しています。危険ですから、絶対に分解したり改造しないようにお願い致します。

**RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN!**

The SRM-727A contains high voltage circuitry.



It is dangerous to disassemble or to remodel it. Please observe Don'ts.

**STAX®**

# 安全にお使いいただくために（初めにお読みください）

## ●ご使用の前に・・・絵表示について

この説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示を使用しています。その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。  
左の例は感電注意






この記号は禁止の行為を告げるものです。  
左の例は分解禁止





この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。  
左の例はプラグをコンセントから抜く

## 警告

	<ul style="list-style-type: none"><li>●ぬれた手で電源プラグまたはイヤースピーカーのプラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。</li><li>●表示されている電源（本機は交流 100 ボルト専用です）以外は使用しないでください。</li><li>●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしないでください。</li><li>●放熱用の上面の通気孔は塞がないでください。</li><li>●ドライバーユニット SRM-727A の内部に金属・液体・物等を入れしないでください。</li><li>●イヤースピーカー用出力端子に触れないでください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●煙が出たり、変な臭いまたは音がしたら、すぐに使用を中止して電源を切ってください。そのまま使用すると、火災・感電などの危険性があります。お客様が修理されるのは危険です。修理は販売店が当社サービス課までご依頼ください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●裏ぶたおよびカバーは外さないでください。</li><li>●分解または改造をしないでください。</li></ul>

## 注意

	<p>本製品は以下のような場所に置かないでください。けがおよび故障の原因になることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●振動または衝撃が加わる場所や傾いた場所や直射日光のあたる場所。</li><li>●水気・湿気・ホコリの多い場所。</li><li>●温度差の激しい場所または熱を発生するものの近く。（ストーブ、ヒーター等）</li><li>●本機の上に重い物を置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがをすおそれがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●落としたり、衝撃を与えること。</li><li>●音量を上げすぎない：大音量で聴くことは耳を痛める原因になります。やや控えめな音量で聴くことは、耳のため製品のためにもお奨め致します。</li></ul>

## 特 長

- SRM-727A はスタックスのエレクトロスタティック（静電）型イヤースピーカーを、理想的にドライブするために生まれた専用のパワーアンプです。更に無帰還出力段を構成することによって、よりダイナミックな再生が可能になりました。
- 高音質 4 連ボリュームを内蔵していますので、XLR コネクタも含めラインレベルのあらゆるアナログ音声出力に接続できます。
- 初段には選別したローノイズデュアル FET を使用し、出力段は無帰還・大電流エミッタ・フォロワーを搭載していますからイヤースピーカーの性能を余すことなく駆動できます。また、シンプル構成の DC アンプで、音質に影響を及ぼすカップリングコンデンサーを排除し、素直なクセのない音質を実現しました。
- 各電子部品は音質・性能を考慮し、経時変化の少ない部品を厳選して使用しました。
- ローノイズデュアル FET によるバランスアンプで構成し、XLR バランス入力にもトランスあるいは反転アンプ等を介在させていません。
- 本機は内蔵ボリュームをパスすることができます。  
お好みのプリアンプの出力や外部のアッテネーターをご使用になれます。  
(5 ページの「ダイレクトスイッチのご使用方法について」を参照してください)

## 使用方法

- リアパネルの AC インレット⑩に付属の電源コードを差し込み、プラグを AC100V のコンセントに差し込みます。
- リアパネルの⑤又は⑥の入力端子にお聴きになる機器を接続します。
- 入力の RCA ピンジャック⑥と XLR 入力端子⑤は、リアパネルの「XLR/RCA 切換え」スイッチで行います。XLR と RCA は同時使用できませんのでご注意ください。また、使用しないケーブルは必ず外してください。
- 電源スイッチ②を押すと、LED ①が点灯します。「カチッ」音がして音を出せる状態になります。
- ご使用になるイヤースピーカーをフロントパネルの「イヤースピーカーコンセント③」に差し込み、ボリュームツマミ④を徐々に右に回して最適な音量に調整してください。  
2 重ツマミの手前を単独で回すと左チャンネルが、奥を回すと右チャンネルが調整できます。左右の音量のバランスはこれで調整します。
- 「REC OUT」端子で十分な再生音量が得られない場合は、プリアウト端子に接続してください。
- 上記以外の接続方法：市販のヘッドフォンジャック → RCA プラグの変換ケーブル等を使用してヘッドフォンジャックから試聴する事が出来ます。  
当社オプションケーブル：RCA-150（1.5m、RCA プラグ-ミニステレオプラグ）もございます。

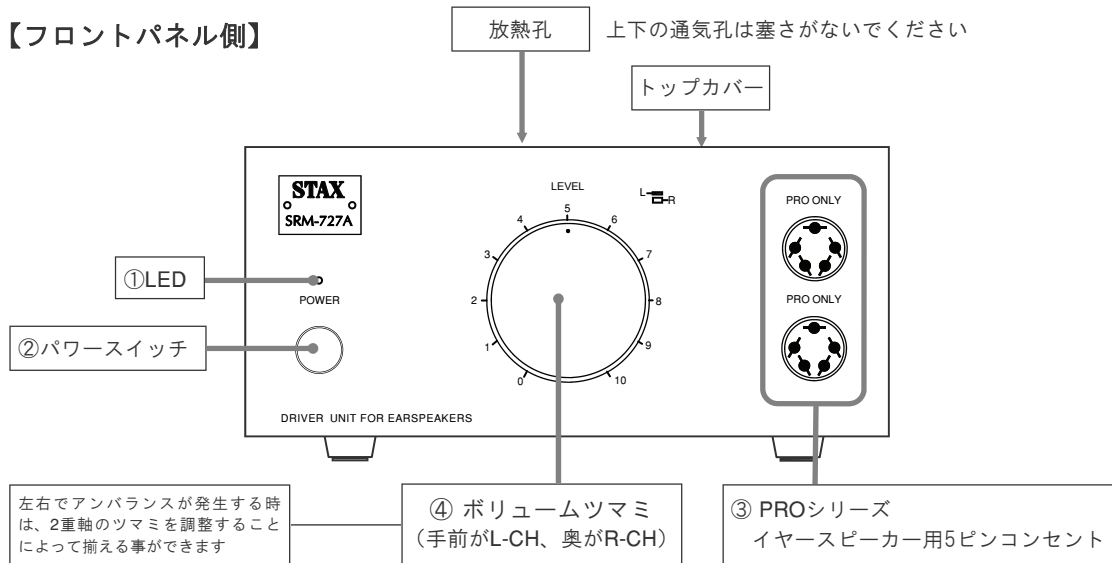
○ プリアウト端子およびヘッドフォンジャックを利用するときは、SRM-727A のボリュームを最大にし、プリアンプまたはヘッドフォンジャックのボリュームで音量調整してください。

## 使用上のご注意

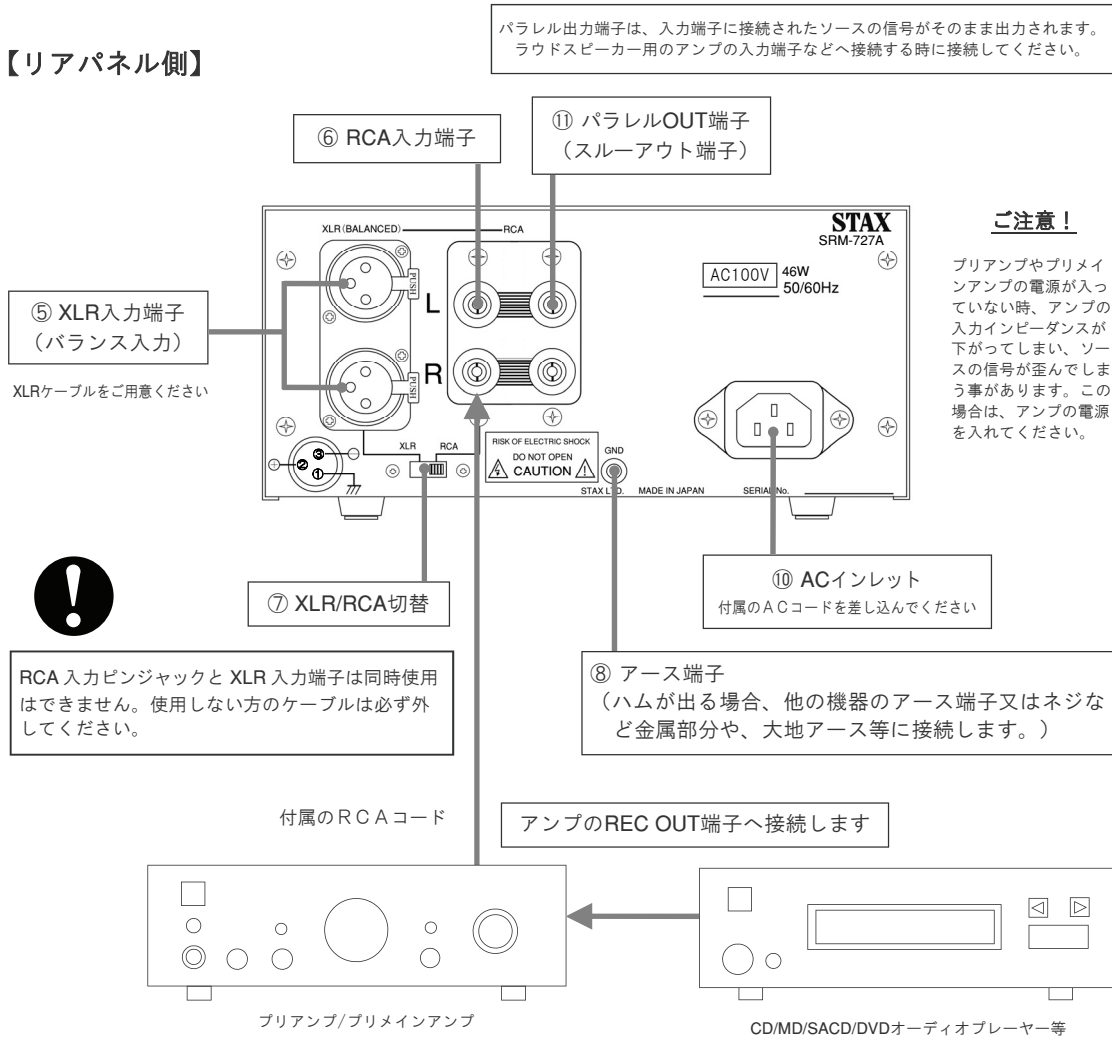
- RCA 入力ピンジャックと XLR 入力端子は、同時使用はできませんのでご注意ください。また、使用しない方のケーブルは必ず外してください。
- 本機の内部には高電圧の部分がありますので危険です。トップカバーまたは底板を外して使用したり、水に濡れやすい場所、またはホコリの多い場所・高湿度の場所での使用は避けてください。
- 本機は発熱しますので本体上下の通気孔を塞ぎがさないでください。  
本機は横にして使用しないでください。
- 本機のボリュームをパスした場合、音量調整ができませんから音量にご注意ください。  
5 ページ「SRM-727A ダイレクトスイッチのご使用方法について」を参照してください。

# 各部の名称と接続の例

## 【フロントパネル側】



## 【リアパネル側】



## ダイレクト・スイッチのご使用方法について

- 工場出荷時のSRM-727Aは本機のボリュームを使用する設定になっています。
- プリアンプのボリュームや外部のアッテネーターを使用するためにSRM-727Aの内蔵ボリュームを無効にする方法をご紹介します。

作業の前に必ず実行してください



### 準備

- 1.電源スイッチを切り、コンセントから電源コードを抜いてから感電等を防止するため、最低10分以上放置してください。
- 2.付属の六角レンチを用意してください。右図参照
- 3.図1の様に六角レンチを使用して、4ヶ所のネジを外してください。



**ご注意！** 作業中 SRM-727A 内部の基板等の部品には絶対に触れないでください。触れると感電したり、調整が狂ってしまう事があります。

下図のように、付属の六角レンチを使用し4箇所のネジを緩めてトップカバーを外してください。



トップカバーを外して、上面より見た様子

感電の恐れや調整がずれることも有ります。基板や部品には触れないで下さい。

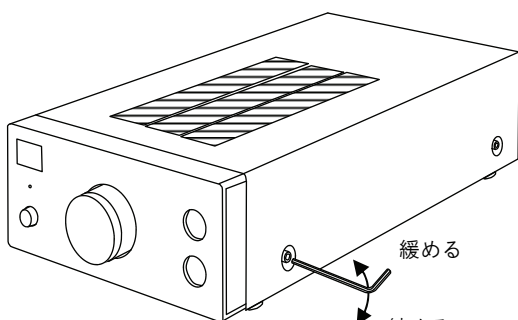
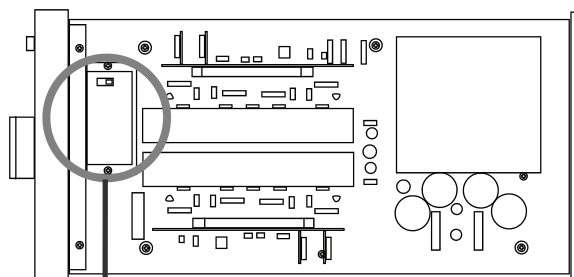


図1



**工場出荷時の設定  
「VARIABLE」**

本体のボリュームが使用できます。

**警告**  
**WARNING**

「DIRECT」の位置では音量を調整する事が出来ません。  
When the switch is set to 'DIRECT',  
Volume adjustment gets out of control.

**「DIRECT」**

外部のアッテネーターやプリアンプのボリュームを使用する設定

本体のボリュームは無効になります。  
ご注意ください。

**警告**  
**WARNING**

「DIRECT」の位置では音量を調整する事が出来ません。  
When the switch is set to 'DIRECT',  
Volume adjustment gets out of control.

## サービスノート

### 音が出ない

- ACコードはコンセントに差し込まれていますか。
- パワースイッチはONですか。
- パネル前面のLEDは点灯していますか。
- 接続したケーブルに異常はありませんか。
- プリアンプやプリメインアンプのセレクタースイッチは接続したソースを選択していますか。

### 音が歪む

- AC電源電圧が異常に低下していませんか。
- 音量を上げ過ぎると歪みます。

### 左右で音が揃わない

- 入力信号は正常ですか。
- ケーブルなどに接触不良はありませんか。
- 左右でアンバランスが発生する場合、2重軸のツマミを調整することによって揃える事ができます。
- ボリュームを絞った時、バラツキによって音が出始める位置が左右で揃わないこともありますが、不良では有りませんのでご安心下さい。

- 音量が調整できない・・・ダイレクトスイッチが「Direct」に設定されていませんか。

### ハム音が出る

- 入力端子は正しく接続されていますか。  
ケーブルのアース側が浮いているとハム音が出る場合があります。
- ハムなどが出る時は、本体のアースと他の機器のアース等を接続してみてください。
- 接触不良はありませんか。
- 電源電圧は95～105Vの間にありますか。
- 機器同士でハムを誘発する場合があります。特に大型トランスを使用した機器、電子レンジが近くにありますか。それぞれの距離を離してください。

その他故障と思われる症状が出ましたら、お買い求めになった販売店もしくは弊社サービス課 049 (258) 2660 までお問合わせください。ホームページでも受付しております。 <http://www.stax.co.jp>

お願い：製品をお送りになる場合は、故障箇所早期発見のため、症状を詳しく書いたメモを同封してください。

## 規格

- 周波数特性： DC ～ 115kHz / +0, -3dB  
SR-404 又は SR-007 1 台使用時
- 定格入力レベル： 200mV / 100V 出力時
- 最大入力レベル： 30V r.m.s. / ボリューム最小時
- 増幅度： 54dB (500 倍)
- 高調波歪： 0.01%以下 / 1kHz ～ 10kHz  
100V r.m.s. / SR-404 又は SR-007 1 台使用時
- 入力インピーダンス： 50K Ω / バランス時 50K Ω × 2
- 最大出力電圧： 450V r.m.s. / 100Hz ～ 10kHz
- 標準バイアス電圧： DC 580V
- 電源電圧： AC100V ± 5%, 50 ～ 60 Hz
- 消費電力： 46W
- 使用温度範囲： 0 ～ 35°C  
90%以下 (但し結露しないこと)
- 外形寸法： 195 (W) × 103 (H) × 420 (D) mm  
[VR ツマミ, ピンジャック (20 + 10) を含む]
- 重量： 5.2Kg
- 備考：スルーアウト端子 (RCA) 付

本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

\* この製品は 100V / 日本国内専用です。

電源電圧は変更できません。

\* 製品の保証は日本国内のみ有効です。

\* (AC100V only: The power supply voltage cannot change.)

\* The warranty of this products is valid in Japan.

### 付属品

ACコード	1
RCAピンケーブル	1
六角レンチ	1
保証書	1
取扱説明書	1

# STAX®

有限会社スタックス

〒354-0046 埼玉県入間郡三芳町竹間沢東7-1  
TEL:049-258-2660, FAX:049-258-2659

Printed in Japan 2013-01 MP ©STAX